

会 議 要 旨

会議名	平成30年度 第2回館山市文化財審議会
開催日	平成31年 2月19日(火) 午後1時30分から3時30分
開催場所	館山市コミュニティセンター第1学習室
出席者	文化財審議会委員 6名 教育委員会教育長、事務局 3名
公開・非公開の別	公開
非公開の場合の理由	
傍聴者	0名
会議概要・結果等	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開 会 2. 館山市教育委員会 あいさつ 3. 会長あいさつ 4. 審議事項 <ol style="list-style-type: none"> (1)「布良崎神社の石棒」の指定について 5. 報告事項 <ol style="list-style-type: none"> (1)映像記録作成事業について (2)赤山地下壕跡の周辺整備について (3)赤山地下壕跡の事業について (4)市道9052号線整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査について 6. その他 質疑応答・意見等 <ul style="list-style-type: none"> ・布良崎神社の石棒は、秩父から群馬にかけて算出される緑泥片岩であり房総の石ではない。石の産地で製作されて運ばれていると考えられる。関東北西部と安房地方の交流が注目される。 ・市内の石棒を調査したなかで、博物館が所蔵する石棒は火に焼けていることが判明した。布良崎神社の石棒は海食洞窟から出土しており、水に浸かっていたことが明らかのため、水の信仰と火の信仰の面で興味深い。 ・明治時代には記録があり、その後神社で神宝として保存され地元の人たちが熱心に文化財指定を願っている点も大事である。 ・指定申請後の調査で石棒が次々確認されている。南房総市にも緑泥片岩製で大型の石棒がある。指定するにあたっては市内だけでなく近隣に所在する石棒も確認が必要である。 →継続審議 <ul style="list-style-type: none"> ・無形民俗文化財は変化し消えていくことも珍しくない。録音テープやビデオの価値がみなおされており、映像記録の重要性が高まっている。事業の過程で収集される映像や写真も重要である。 ・無形のもの一度途絶えると元通りに戻すことが難しい。継承するための手段として記録しておくということも必要である。 ・映像の他に歌詞も文字として記録しておいてほしい。